

ウオダス 漁海況速報

No.1546



発行日 平成 19年4月2日 <http://www.applenet.jp/~aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384-37

4月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

今年度から開運丸と青鵬丸の2隻体制で調査を実施することになりました

下前 (3月26~31日) (取りまとめ中)

鰺ヶ沢 (3月26~31日)

ヤリイカ	底建網	71隻	3,511kg
(3,565 kg)	底曳網	3隻	54kg
マダラ	底建網	19隻	295kg
(329 kg)	底曳網	2隻	34kg
ウスメバル	底建網	5隻	1kg
アブラソノザメ	底曳網	1隻	13kg
タイ	底曳網	2隻	7kg

大戸瀬 (3月26~31日)

ヤリイカ	定置網	14隻	30kg
(1,399 kg)	底建網	153隻	1,358kg
サケ	底建網	1隻	3.0kg
ブリ	定置網	3隻	2.5kg
(8 kg)	底建網	3隻	5kg
マダラ	定置網	5隻	37kg
(541 kg)	底建網	56隻	504kg
サクラマス	定置網	22隻	199kg
(371 kg)	底建網	22隻	172kg
タイ	定置網	4隻	11kg
(24 kg)	底建網	11隻	13kg
ウスメバル	定置網	1隻	0.2kg
(34 kg)	底建網	43隻	34kg

深浦 (3月26~31日)

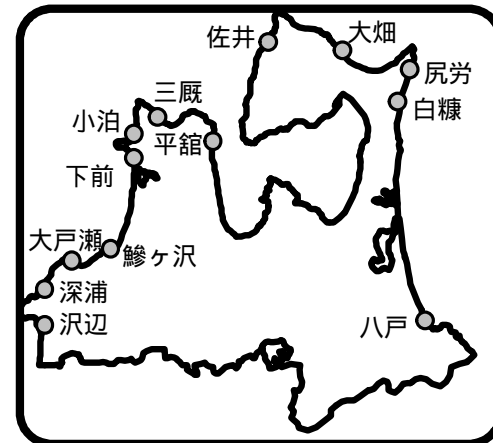
ヤリイカ	底曳網	9隻	180kg
サクラマス	定置網	3隻	89kg
ウスメバル	一本釣	14隻	507kg
(570 kg)	刺網	6隻	63kg
スルメイカ	底曳網	3隻	100kg

沢辺 (3月26~31日)

ヤリイカ	定置網	2隻	21kg
(125 kg)	底建網	10隻	104kg
マダラ	定置網	2隻	45kg
(102 kg)	底建網	5隻	57kg
サクラマス	定置網	6隻	142kg
ウスメバル	刺網	16隻	274kg

小泊 (3月26~31日)

ヤリイカ	棒受網	39隻	8,030kg
ウスメバル	一本釣	78隻	1,584kg
タイ	刺網	2隻	31kg



佐井 (3月11~15日)

ヤリイカ	定置網	8隻	239kg
(651 kg)	底建網	1隻	24kg
	一本釣	2隻	388kg
サクラマス	定置網	1隻	21kg

(3月16~20日)

ヤリイカ	定置網	75隻	815kg
(1,035 kg)	底建網	11隻	172kg
	一本釣	4隻	48kg
タラ	定置網	5隻	250kg
(313 kg)	底建網	4隻	62kg
サクラマス	定置網	5隻	10kg
(28 kg)	底建網	4隻	19kg

(3月21~25日)

ヤリイカ	定置網	89隻	1,979kg
(2,166 kg)	底建網	3隻	29kg
	一本釣	6隻	158kg
タラ	定置網	2隻	20kg
サクラマス	定置網	5隻	32kg

三厩 (3月26~31日)

ヤリイカ	定置網	223隻	2,312kg
ウスメバル	一本釣	12隻	415kg
アブラソノザメ	延縄	15隻	3,970kg

平館 (3月26~31日)

ヤリイカ	定置網	65隻	798kg
サクラマス			162kg

大畑 (3月26~31日)

ヤリイカ	定置網	18隻	6,966kg
(7,282 kg)	底建網	13隻	302kg
	一本釣	6隻	13kg
サクラマス	定置網	16隻	188kg
(1,482 kg)	一本釣	114隻	1,294kg
	底建網	1隻	1kg
マダラ	定置網	1隻	8kg
(41 kg)	底建網	8隻	33kg
サケ	定置網	1隻	4kg
ブリ	定置網	6隻	10kg
(10 kg)	底建網	1隻	1kg
ウスメバル	底建網	8隻	3kg
(90 kg)	籠	4隻	61kg
	一本釣	3隻	24kg
	刺網	3隻	1kg
タイ	底建網	1隻	0.4kg

尻労 (3月26~31日)

ヤリイカ	定置網	7隻	4,581kg
サクラマス	定置網	8隻	458kg
(850 kg)	一本釣	45隻	392kg

白糠 (3月21~31日) (取りまとめ中)

八戸 (3月26~31日)

サケ	他定置網	2隻	450kg
----	------	----	-------

新任のごあいさつ

所長 坪田 哲

このたびの人事異動で水産振興課長から所長に任命されました坪田です。

平成18年度の冬は世界的に暖冬であり、海もまた同様で昨年より異常低水温から一転して平年を2~3上回りました。その結果、地域により魚種や漁獲状況の変化が顕著に現れています。今後は漁海況データを集積・解析することにより今回の現象を検証していくことが重要と思います。そのためにも昭和60年から実施している「ウオダス」は貴重なデータであり、関係者のご協力を得ながら適期、的確な情報提供に努めますので、よろしくお願いいたします。

沿岸各地の水温

日本海 10 台
陸奥湾 4 ~ 9 台

(3月26~31日)
津軽海峡 8 ~ 9 台
太平洋 8 台

今回は蛇浦、関根浜、泊を除く各地点で昇温し、平均前回差は+0.4度となりました。

昨年と比べると、日本海側で+2.9度、津軽海峡側と陸奥湾内で+1.7度、太平洋側で+1.0度となっており、平均昨年差は+1.8度です。

平年と比べると、日本海側ではなはだ高め、太平洋側でかなり高め、津軽海峡と陸奥湾でやや高めとなっており、平均昨年差は+1.3度となりました。

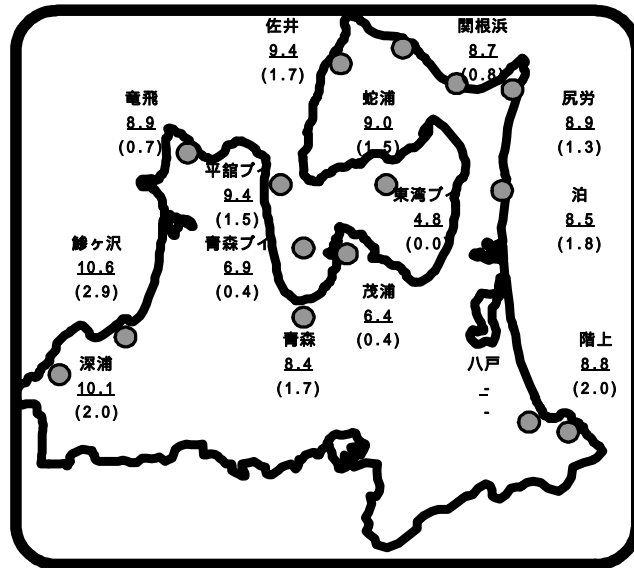


図 定地水温 (3月26 ~ 31日)
平均値 (平年差) ブイ 1 m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	10.1	+2.0	+2.7	+0.8
鱒ヶ沢	10.6	+2.9	+3.1	+0.5
竜飛	8.9	+0.7	+1.7	+0.1
佐井	9.4	+1.7	+2.3	+0.4
青森	8.4	+1.7	+2.3	+1.5
蛇浦	9.0	+1.5	+1.6	-0.2
関根浜	8.7	+0.8	+1.1	-0.2
尻労	8.9	+1.3	+1.2	+0.1
泊	8.5	+1.8	+1.0	-0.3
八戸	-	-	-	-
階上	8.8	+2.0	+1.1	+1.0
茂浦	6.4	+0.4	+1.4	+0.8
平館ブイ	9.4	+1.5	+1.8	+0.1
青森ブイ	6.9	+0.4	+1.9	+0.7
東湾ブイ	4.8	+0.0	+1.1	+0.3
平均	8.5	+1.3	+1.8	+0.4

太平洋の海況 (3月26 ~ 31日)

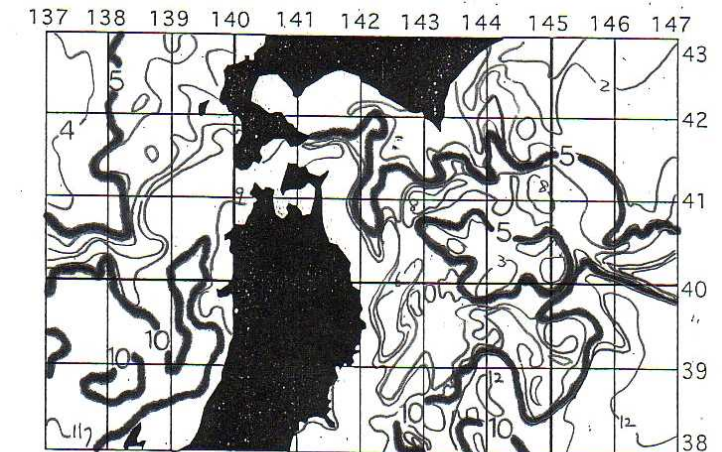
概況；沿岸水温は8台
太平洋沿岸域の表面水温 8台で前回よりわずかに低くなっています。前年同期と比較すると、1~2度高めの水温です。

津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 7等温線で見ると東経142度00分付近までで、張り出しは前回よりも強まっています。

親潮系冷水の南下 5等温線で見ると北緯40度40分付近までで、張り出しは前回よりも若干強まっています。

日本海の海況 (3月26 ~ 31日)

概況；沿岸水温は8~9台
日本海沿岸域の表面水温 8~9台で、前回と変わっていません。前年同期と比較すると1~2度高めの水温です。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第1号 4月2日

東奥丸が廃船となりました

「(4代目) 東奥丸」(140トン、D1400馬力、鋼船)が平成2年2月に海洋観測やいか類漁場調査及び水産修練所の修練業務(漁業実習)を兼ねる目的で竣工してから、17年を経て廃船となることになりました。

東奥丸はこの間、秋サケ資源調査(H2~3)、日本海マス漁業調査(H2~3)、太平洋サケマス資源調査(H7~8)、ツノナシオキアミ資源調査(H7)、太平洋系マイワシ資源等緊急調査(H3~6)、対馬暖流系マイワシ資源等緊急調査(H4~5)、昼いか釣り漁場開発調査(H7)などを行ってきました。

また、日本海の定線観測は132回、太平洋の沖合定線観測は26回行いました。また、冷水接岸監視調査や津軽海峡の津軽暖流流量調査も20回実施しました。

期間を通していか類漁場調査やあかいか漁場調査を行い、南は隠岐諸島周辺から北は武蔵堆までの日本海、太平洋ははるか沖合まで航海し、するめいかやあかいかの釣獲調査や分布・回遊などの生態調査を行っています。

今後は、開運丸と青鵬丸の2隻体制で調査を行う予定です。

スルメイカ漁況

沖合釣り：境港では主に北九州から見島沖での操業船が4日間に延べ117隻入港し、14,620ケースが水揚げされた(前期比1.6倍)。前年は漁獲なし。魚体は徐々に小型化し、外套長は17~26センチ。

沿岸釣り：石川県(3/22~28)：釣り延べ3隻で100キ口。定置網延べ116力統で1.0トン。富山県(3/21~27)：沿岸釣り・定置網で40.6トン。前年並み。定置網でホタルイカ68.5トンに急増。新潟県(3/15~27)：両津定置網(延べ46力統)で22.7トンに急増

(資料：日本周辺漁海況情報 第1139号 3月29日発行 漁業情報サービスセンター)